

フレンドニュース 笔友通讯

第31号

2012年2月

発行：特定非営利活動法人 日中児童の友好交流後援会 子どもペンフレンドクラブ

発行責任者：江原孔江

〒143-0016 東京都大田区大森北 1-30-1 三喜屋ビル2階 電話:03-3763-7512 FAX:03-3763-7513 助成:平和中島財団

2011年3月11日の東日本大震災の影響で、心待ちにしていた5月の訪日団がキャンセルとなりました。今年度は文通相手に会えるチャンスがなくなりましたが、4月に送られてきた中国の子どもたちからの手紙には、「大丈夫ですか」、「ぼくたちがついているよ」と、心からのお見舞いのメッセージが書かれていました。今年度は日本、中国とも合計で1,000名を超える子どもたちが文通に参加しました。翻訳担当は、今年度より新たに中国の大連外国語学院日本語学院の日本語科で通訳翻訳コースを専攻している大学院生や大学生の学生たち75名が、子どもたちの手紙の翻訳ボランティアをしてくれています。また9月には、文通相手の旅順について話をしてもらいたいと、東京都目黒区立鷹番小学校から本後援会に依頼があり、6年生全員に向けてお話しする機会をいただきました。子どもたちからはその後お礼の手紙とともに、一人ひとりが調査研究して作った「中国壁新聞」をいただきました。どうも有難うございました。本後援会の文通活動をきっかけとして、いろいろな活動に発展していくことを願っています。◇

去年原定5月成行の旅順児童訪日代表团，由于受到2011年3月11日发生的日本东部地区大地震的影响，最终没有成行，也失去了与笔友见面的机会，非常令人遗憾。但是，很多中国小朋友在4月份邮寄来的信件中，向日本小朋友传达了担心之意和衷心的问候，同时表示说我们永远支持你们。去年，中日两国共有超过1000名的孩子们参加了通信活动。我们委托大连外国语学院日语学院高级翻译专业的75名本科生和研究生担任了信件的翻译工作。他们作为志愿者，很好地完成了翻译工作。去年9月，东京都目黒区鷹番小学向后援会发出邀请，希望我们能够介绍一下旅顺的情况，于是我们给六年级全体学生做了介绍。后来同学们给我们发来了感谢信，还有他们每个人调查制作的有关中国的小报。非常感谢给予我们大力支持的中日两国的学校、老师以及同学还有志愿者们。后援会希望通过笔友交流活动进一步推动后援会各项工作的发展。



中学生の文通始まる 中学生之间的通信开始了

本年度から渋谷教育学園渋谷中学高等学校と啓明学園中学校の中学生たちが、旅順の第五十五中学と、日本語、中国語だけでなく英語での文通も開始しました。英語の手紙には翻訳が不要なので、本後援会が窓口となり、学校同士の直接交流も実現しそうです。◇

本年度（2011年4月-2012年3月）、渋谷教育学園渋谷中等高等学校和啓明学園中学校の中学生们开始与旅顺第五十五中学的学生们通信，使用的语言不局限于日语和汉语，甚至直接使用了英语。英语通信不需要翻译，后援会可以作为窗口单位，实现学校和学生的直接交流。

目次

- 「そもそものはじまり」《追忆过去，畅想未来》・2
- 「2011年度文通参加者数一覧」・・・・・・・・・4
- 普蘭店市皮口鎮駅前小学・・・・・・・・・4
- 旅順口区九三小学校・・・・・・・・・5
- 旅順口区水師營中心小学校・・・・・・・・・6
- 大連市実験小学校・・・・・・・・・7
- 港区立三光小学校・・・・・・・・・8
- 目黒区立鷹番小学校・・・・・・・・・9
- 港区立御田小学校・・・・・・・・・10
- 旅順口区第五十五中学・・・・・・・・・11
- 啓明学園中学校・・・・・・・・・12

子どもペンフレンドクラブの信条

儿童笔友会的信条

1. 平和 2. 友愛 3. 教養
1. 和平 2. 友爱 3. 高尚

これらを活動の目標として、日本と中国の子どもたちが文通を通じてお互いを知り、友情を深め一層の日中友好を図ることを目的としています。

目的是期待日中两国儿童通过笔友活动实现相互了解，增加友谊，进一步推动日中友好。

あとがき 后记

今号は各学校が独自のスタイルで記事を寄せ、後援会で両国語に翻訳し掲載しました。今年の日中国交回復40周年の記念の年です。本後援会も20周年を迎えます充実した交流をしていきたいと思います。今年度も文通活動に対し財団法人平和中島財団の助成金をいただき子どもたちの心の交流が実現しています。改めて厚く感謝申し上げます。(漣)

虽然一年只有两次书信往来，但是如果没有日中两国众多相关人员的大力支持和协助也无法完成。本期笔友通讯承蒙各个学校投稿，由后援会翻译成中日两国语言同时刊登。今年是中日邦交正常化40周年，后援会也将迎来创立20周年，今后我们将开展更加充实的交流活动。本年度的笔友活动在财团法人平和中岛财团的赞助下，实现了日中两国孩子们心连心的交流，借此机会表示衷心的感谢！